



子どもの自主性をはぐくみ、  
家庭学習の習慣化を図る

# 家庭学習の手引き

大和町教育委員会

# はじめに

大和町教育委員会教育長 上野 忠弘

小・中学校での学習は、児童・生徒が社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育みます。学校では、基礎的な学力の向上を図るための努力を行っていますが、家庭との協力によってこそ、成果が得られるものであると考えます。そして、家庭学習も「学ぶ力」を育てる大切な機会であるにとらえています。

大和町教育委員会が育みたいと考えている「学ぶ力」とは、「なぜ、・・・なのだろう」「もっと調べてみたい」「もし、・・・だとしたら、どうだろう」など、自分で興味・関心をもち・意欲をもって学び続け、これまで得た知識を生かして考えを深めていく力です。

家庭学習を毎日続けることで、学習習慣が身に付き、多様な見方・考え方や集中力が高まります。また、学習の中で困難なことに出会っても根気強くチャレンジしようとする力も備わります。

家庭学習を定着させることは、子どもたちの主体性や自立性を大きく伸ばし、「目標をもって心豊かに生きる力」となって、将来への大きな財産となることでしょう。

大和町教育委員会では、この「家庭学習の手引き」を、家庭学習充実のための手助けになればという思いで作成しました。町内の小・中学校において家庭学習の習慣化が図られ、すべての子どもたちに自ら学ぶ習慣が身に付くことを期待しています。この冊子を十分に活用し、家庭学習を充実したものにしていただければ幸いです。

また、子どもたちの学びを応援していただきますようお願い申し上げます。

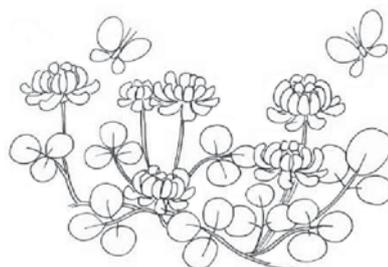


# 目 次

はじめに

大和町教育委員会教育長 上野 忠弘

■家族の方へ	1
■小学校1・2年生	2
■家庭学習の内容や方法	3
■小学校3・4年生	4
■家庭学習の内容や方法	5
■小学校5・6年生	6
■家庭学習の内容や方法	7
□中学校1・2年生	8
□家庭学習の内容や方法	9
□中学校3年生	10
□家庭学習の内容や方法	11
■あとがき	12

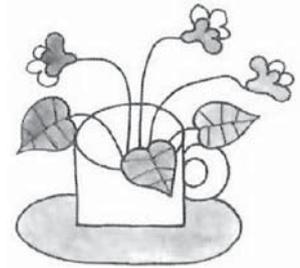


## お子さんの「学び」を応援しましょう

進んで学ぼうとする力は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。

また、子どもは家族に認められ、励まされることで、「やってよかった」「がんばってよかった」という充足感や見守られているという安心感のもてる環境の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。

学校と家庭とが互いに協力し合って、子どもの「学び」を応援していきましょう。



## 家庭にお願いしたいこと 学校が心がけていくこと

- 家庭は、基本的な生活習慣の定着を図り、生活リズムを整え、決まった場所と時間で、学習に集中できる環境をつくりましょう。
- 家庭は、親子のコミュニケーションを大切にし、がんばりを認め励まし、対話のある温かいふれあいをつくりましょう。
- 学校は、基礎学力をつけ、学び方を教え、主体性を育てる学習指導をすすめます。
- 学校は、子どものよさを認め、よりよい家庭学習の提案を行っていきます。

## 家庭学習で困ったら

この手引きは、学年による発達段階に合わせた参考例をのせています。

まず、できるところから取りかからせてみてください。小学校の低学年や中学年では家族の方が一緒にそばでお子さんの様子を見てあげるなどして進めていき、徐々に一人でできることを多くしていくことがよいでしょう。

家庭学習は自主的な取組のものですが、学校で先生にみてもらうなどして、アドバイスを受けるとたいへん励みになるでしょう。

困ったことがあったらどんなことでもかまいません。先生に相談してみてください。



小学校

1・2年生

家庭学習の  
ポイント

### ポイント①

### ポイント②

### ポイント③

めあて

基本的な学習習慣を身に付ける

学習時間のめやす

10分～30分

#### 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう！

「早寝・早起き」「しっかり食事をとる」「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「机の上を整頓する」「学習の準備をする」「時間のけじめを付ける」などの基本的な学習習慣を身に付けることが学習の土台になります。

#### 家庭の手助けが必要！

小学校1・2年生の家庭学習には、家族の手助けが欠かせません。「やったね！」「よくできたね！」などのほめる言葉が意欲を生みだします。学習習慣定着のためには、必ず保護者の目で点検し、粘り強く働きかけていくことが大切です。

#### 家庭に学びの環境を！

規則正しい生活習慣の中で、生活の約束を守り、特に「決まった時間に勉強に取り組ませる」ことが大切です。家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めましょう。



# かていがくしゅう ないよう ほうほう 家庭学習の内容や方法

小学校  
1・2年

がくしゅうじかん  
学習時間のめやす  
10分～30分

## しゅくだい

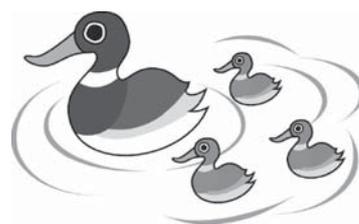
- さいごまで がんばって やりましよう。
- わからないときは おうちのひとに きいてみましょう。
- しゅくだいが おわったら あしたのじゅんびを しましょう。

## じしゅがくしゅう

- すきな本を たくさん 読みましよう。
- たのしかったこと うれしかったとを 日記に書きましよう。

## こくご 国語

- 大きな声で はっきりと 読めるように しましよう。
- 「、」や「。」に気をつけて すらすら 読めるように れんしゅう しましよう。
- 文字(ひらがな カタカナ かん字)のれんしゅうは ひつじゅんや 文字の形に気をつけて 書きましよう。
- 正しい しせいで ていねいに 書きましよう。
- えんぴつは 正しく もちましよう。



## さんすう 算数

- たし算や ひき算が 正しく できるように しましよう。
- 2年生は 九九が すらすら できるように しましよう。
- まちがった もんだいは できるように なるまで なんとでも やりなおしましよう。

できたらすごいよ!!

(ちょうせん してみよう!)

- きょうかしょを うつす。
- さくぶん 作文を 書く。
- ドリル などに とりくむ。
- じょうぎを つかう れんしゅうをする。
- 生きものを かんさつする。
- じてんや 函かんで しらべる。
- 自分で もんだいを つくる。
- しを 書いたり おぼえたり する。

小学校

3・4年生

めあて

自ら学習に向かう習慣を身に付ける

家庭学習の  
ポイント

学習時間のめやす

30分～50分

### ポイント①

#### 生活にリズムを！

生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることで身に付きます。「起きる時刻」「ねる時刻」「勉強する時間」などを決めて生活することが大切です。テレビやゲームなどの時間がだらだら長くなっていないか、家族で一緒に確認してみましょう。

### ポイント②

#### 自分でできることは自分で！

小学校3・4年生は、好奇心が旺盛で、自立心も芽生えてくることから、自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていくことが大切です。だからといって、任せっきりにするのではなく、特につまずきや苦手なことについては、家族の温かい励ましやアドバイスが、やる気を起こさせる上でとても重要なことです。

### ポイント③

#### 意欲を引き出す言葉がけを！

学習範囲が広がることで、学習の個人差も出てきます。そのような時には、友だち、兄弟・姉妹と比べたりするのではなく、子どもの「やる気」を見逃さないようにして、ほめたり、励ましたりすることで意欲の後押しをしていくことが重要となります。



# 家庭学習の内容や方法

小学校  
3・4年

学習時間のめやす  
30分～50分

## 宿題

- 漢字や計算には、毎日取り組みましょう。
- 時間を決めて取り組みましょう。

## 自主学習

- 資料集や地図帳、辞典などを使った調べ学習にもちよう戦しましょう。
- 進んで読書をしましょう。

## 国語

- 今、勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。  
(漢字を正しく読む。気持ちをこめて読む。聞いている人に様子が分かるように読む。)
- 新しく習った漢字や覚えていない漢字を練習しましょう。  
(漢字のへんやつくり、筆順に気をつけて練習しましょう。)
- 好きな本や国語以外の教科書も読んでみましょう。
- 1日の中で楽しかったことや心に残ったことを日記に書いてみましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味を書いておきましょう。

## 算数

- その日に勉強したところの問題を解いたら答え合わせをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。まちがえたら「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直してみましょう。
- 今までに勉強したプリントやテストの問題をもう一度解いてみましょう。
- まちがえた問題やちょっと苦手な問題は、何度もくり返し復習しましょう。



## こんなこともできるよ

- 「おもしろそうだ」「もっと知りたい」と思ったことを図鑑やインターネットなどで調べましょう。
- 大和町など、地域の文化や産業について調べたり、地域の自然探索をしたりするのもいいでしょう。
- リコーダーで習った曲を練習するのもいいでしょう。